



年末手当に対する若手の声⑥

黒字化への努力

- ・ コロナ禍で仕事量もそれほど変わらないなかでも、コストカットを実現し、有料イベントにも取り組んできた。自分の職場では1億円を超えるコストダウンをしてきたと聞いているが、紛れもなく現場の努力だ。
- ・ 作業着の洗濯も直轄。みんな苦労しながらやってきている。そこは汲んで欲しい。
- ・ 買い物はエキナカや駅の自販機を使用している。長距離移動は特急を利用し増収にも貢献してきた。
- ・ 両親へも購入券を使って自社利用を呼び掛けてきた。
- ・ グループ会社内での買い物をできる限りしているが、所得が減っているのだから買い物を減らすのは当然。なのに社員にはJRE MALL等でいっぱい金を落とさせて…理解不能。そもそも社員に金落とさせて収益を増やすやり方、金落とした分を会社が社員に還元してくれないのならやりたいと思わない。

人材流出について

- ・ むしろ転職したいと自分も思う。会社に魅力が無くなれば転職するのは仕方がない。
- ・ これまで去っていく仲間を見てきた。定年までの安定した生活や鉄道が好きだったなど、想いはそれぞれだが、一貫してこの先が見えないと言って去っていった。引き留めようにも今の会社の現実を見ればそうならない。入社してくる人たち、今いる社員どちらにも魅力ある会社にしていくために満額獲得で答えるべきだ。
- ・ 優秀な若手がどんどん辞めていき残念。会社に人材流出の危機感はないのか。
- ・ モチベーションとも絡んでくるが、待遇も上がらない。設備投資も抑制するでは会社の将来性に疑問を持つ。
- ・ 流出して当然。それだけ今のこの会社に魅力も期待もない。同期もやめだし、先輩・後輩でも辞めた人がいる。自分も何回か考えた。それでも残っているのは家庭事情や東労組があるから。これらが無ければ自分は辞めている。また、他人に入社を勧めることもできない。

**社友会ではこのような声があっても交渉できない！！
労働組合に結集し、年末手当の満額回答を勝ち取ろう！！**